

Beyond Limits. Unlock Our Potential.  
**世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画**

**コンソーシアム等の名称：スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム  
( 本編 )**

## 【本編目次】

．エコシステム形成促進主体について	.....	3
．地方自治体の取組	.....	14
．民間組織の取組	.....	24
．大学の取組	.....	27
．都市の環境・繋がり状況	.....	33

## （追加提出資料）

ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成の進め方...追加-1

# エコシステム形成推進主体について(1/11)

## 1. エコシステム形成の目標・KPI

- 国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長、ひいては東京の経済の持続的な発展を実現
- イノベーションを社会に実装し、地域に還元
- これにより、Society5.0を実現し、日本全国の課題解決や世界経済の発展に貢献

指標	現状	目標(2024年)	目標(2030年)
ユニコーン級*創出数(累計)	3社(2019年)	<b>20社</b>	-
Startup Genome社 Global Startup Ecosystem Report	調査対象外 (2019年)	<b>10位以内</b>	5位以内
行政課題解決プロジェクト創出数	-	<b>50件</b>	100件
2thinknow社 Innovation Cities Index	2位 (2019年)	<b>1位</b>	1位(維持)
海外高度人材 (高度専門職・経営管理ビザ数)	15,956人 (2018年)	<b>35,000人</b>	50,000人
外国企業誘致数	719社 (2012-2018年度)	<b>1,500社(累計)</b>	2,400社(累計)
大学発ベンチャー数 (コンソーシアム加盟大学)	533社 (コンソーシアム加盟大学の総計、 2018年度経産省調査)	<b>倍増</b> (コンソーシアム加盟 大学の総計)	-

\*計画においては、いわゆるユニコーン、未上場の企業にとどまらず、M&AやIPO等によりエグジット済みの企業など、ユニコーンに準ずる有望スタートアップについて、市場にフィットする形で積極的に支援の対象としていく。

その他指標として、都内スタートアップ数、スタートアップへの投資額、都内スタートアップ関連イベント開催数・参加者数、コンソーシアムへの参加企業数、コンソーシアムを通じて成立したオープンイノベーション事例の数、海外スタートアップの日本市場での上場数、等を設定していく。

## 2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

エコシステム形成主体として「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」を令和2年1月22日に設立。

### 特色

東京は日本一のヒト・カネ・知の集積地。

(例：都市圏人口約3,800万人、都内総生産約108兆円、国内トップ大学の約3割が集中、Fortune Global500企業の所在数世界大2位 等)

この資源を最大限に活かし、**新たなつながり**を生むプラットフォームを形成

東京都心部を核として、「**グレーター東京**」としてハブ&スポークの形で連携の輪を都外拠点にも拡大。国や海外拠点と連携し、エコシステムをさらに拡充

### 2. つながり創出

多様なプレイヤーをネットワーキング  
大企業から中小まで幅広い参画を得て、  
新たなつながりを創出  
オープンイノベーションを推進

### 1. 情報共有・基盤強化

多様な資源の実態を  
把握、情報共有。タイムリーに  
情報が届くサポートを実現

### 3. 見える・魅せる東京へ

東京のスタートアップ・エコシステムを広く発信。  
中からも外からもビジブルに、海外  
スタートアップ・投資を惹きつける東京へ

### 4. 国との連携

グローバル拠点都市として日本の  
成長戦略に貢献。  
タイムリーな規制緩和や施策を提案要求、  
海外PR等へも協力

### 5. 広域連携のイノベーション・ハブ

東京圏の拠点都市との連携により、  
幅広い機能を実現

### 「点」×「深さ」のディープ・エコシステム：

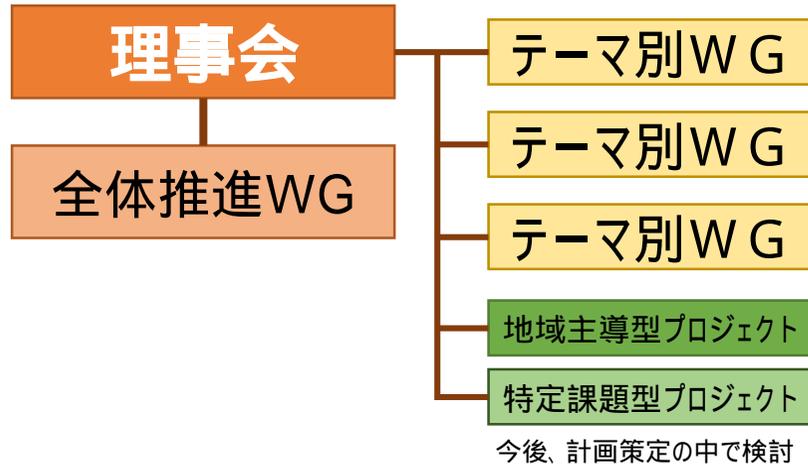
個別分野に特化し、各分野に精通した先進的プレイヤー同士をつなぐことでイノベーションを創出

### 「面」の汎用エコシステム：

スタートアップと企業・個人・大学等の相互連携を強化、データの活用を促進、広域なプラットフォームを整備

## 2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

### スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム



### 正会員・賛助会員 (別紙一覧参照)

テーマ別WGでは、医療・ヘルスケア、環境・エネルギー、デジタルといった社会ニーズ、東京都ならではの課題に沿ったテーマを設定し、具体的なプロジェクトの組成に向けて議論を進める。

理事会の下、正会員を中心に取組テーマに応じた座組でテーマ別WGを組成。エコシステム形成のための個別プロジェクトを立ち上げ、強力にドライブ区、広域連携関連団体、既にエコシステム形成に取り組む地域協議会などが主導し、地域の特色を生かしたスタートアップ・エコシステム形成を目指す「地域主導型プロジェクト」の実行も支援。特定の課題（資金調達、人材流動化、グローバル化等）については、テーマ・分野を横断したプロジェクトチーム等を組成

### 主なメンバー（下線は理事）

東京都（事務局）  
都内民間事業者（東急、東急不動産、三井不動産、三菱地所、森ビル）  
経団連、経済同友会、新経連、東商、日本VC協会、ジェトロ、東京証券取引所）  
大学（東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学）  
VC、スタートアップ（上場済を含む）、都内自治体  
賛助会員（サポーター）  
広域連携関連団体（川崎市、横浜市、和光市、つくば市・茨城県）

# エコシステム形成推進主体について(4/11)

スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム 会員 (5月31日時点、174団体、いずれも略称・順不同)  
: エコシステム形成にむけて、大企業、大学・研究開発法人、自治体、経済団体等、VC・アクセラレータといった  
かつてない幅広い主体が参画する会員制のコンソーシアムを組織

## 自治体等

茨城県、墨田区、大田区、大田区産業振興協会、中央区、川崎市、川崎市産業振興財団、つくば市、品川区、品川ビジネスクラブ、文京区、渋谷区、港区、新宿区、和光市、東京都、東京都中小企業振興公社、東京都立産業技術研究センター、横浜市

## 大学・研究開発法人等

宇宙航空研究開発機構、慶應義塾、東京都立産業技術大学院大学、東京都立大学、順天堂大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京理科大学、早稲田大学

## スタートアップ

AIメディカルサービス、エレファンテック、クリーンプラネット、コードクリサリスジャパン、Sansan、助太刀、スマートニュース、Chatwork、TBM、テックポイント・インク、Finatextホールディングス、フォースタートアップス、freee、プレイド、ミクシィ、マネーフォワード、ユーザベース、ラクスル、Luup、レストアビジョン、MaaS Tech Japan、オールアバウト、デジタルガレージ、SBドライブ、レアジョブ、Deep30

## VC・アクセラレータ

ANRI、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ、インキュベイトファンド、WiL、オプトベンチャーズ、グローバル・ブレイン、慶應イノベーション・イニシアティブ、サイバーエージェント・キャピタル、GMO Venture Partners、ジェネシア・ベンチャーズ、ジャフコ、ゼロワンブスター、東京大学エッジキャピタルパートナーズ、日本クラウドキャピタル、Beyond Next Ventures、Plug and Play Japan、三菱UFJキャピタル、UB Ventures、リアルテックホールディングス、DBJキャピタル、東京理科大学イノベーション・キャピタル、東京理科大学インベストメント・マネジメント

## 大企業

あいおいニッセイ同和損害保険、旭化成、あずさ監査法人、アストラゼネカ、アフラック生命保険、安藤・間、EY新日本監査法人、SAPジャパン、角川アスキー総合研究所、KDDI、京浜急行電鉄、サイバーエージェント、住友生命保険、住友不動産、セガサミーホールディングス、全日本空輸、ソニー、ソフトバンク、SOMPOホールディングス、竹中工務店、大成建設、TIS、ディ・エグゼクティブ・センター・ジャパン、電通、東急、東急不動産、東京海上日動火災保険、東京建物、凸版印刷、日本航空、日本土地建物、日本ユニシス、東日本旅客鉄道、平和不動産、ポッシュ、みずほ銀行、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三井不動産、三菱ケミカルホールディングス、三菱地所、三菱電機、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、森トラスト、森ビル、横浜銀行、ラック、ADKマーケティング・ソリューションズ、NTTドコモ、きらぼし銀行、信金中央金庫、セールスフォース・ドットコム、第一生命保険、デンソー、東宝、戸田建設、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、日本電気、日本郵便、日立製作所、パソナ、フジテレビジョン、三菱総合研究所

## 経済団体・その他支援機関等

アンダーソン・毛利・友常法律事務所、漆間総合法律事務所、EDGE of、ETIC、金融ファクシミリ新聞社、Creww、経済同友会、CIC(Cambridge Innovation Center)、シリコンバレー・ジャパン・プラットフォーム、新経済連盟、Startup Lady協会、世界経済フォーラム第4次産業革命日本センター、中国経済連合会、東京国際金融機構、東京商工会議所、Tokyo Marunouchi Innovation Platform、経団連、日本貿易振興機構、500 Startups、Fintech協会、プロジェクトニッポン、ベンチャー・カフェ東京、香港投資推進局、三浦法律事務所、森・濱田松本法律事務所、KEIRETSU・JAPAN、新宿副都心エリア環境改善委員会、スウェーデン大使館、東京証券取引所、『WIRED』日本版、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

## ○東京コンソーシアムでの取組の方向性(案)

日本、ひいては世界を牽引するグローバル拠点都市として、スタートアップの創出と呼び込みを図り、成長させるために必要な取組をコンソーシアム会員間で議論・実行する

### 1 . 情報共有 ・基盤強化



コンソーシアム内の情報共有、スタートアップ支援に向けた体制を強化。地域や業界にとらわれずに多種多様なプレイヤーの連携関係を構築・強化。また、人材育成・流動化や多様性の拡大等によりエコシステム全体のつながり強化・多様化を図り、オープンイノベーションを促進していく  
(取組例) コンソーシアム内情報プラットフォームの設置、スタートアップに関する現状調査、支援メニューマップの作成、人材育成・流動化の推進、スタートアップにおけるダイバーシティ拡大 等

### 2 . つながり創出、 5 . 広域連携のイ ノベーション・ハブ



都内に集積する先端技術を活用したスタートアップ、先端技術のシーズを数多く有する大学等研究機関、民間事業者、行政等、幅広いつながりを創出。資金調達や横連携の強化といったサポートを総合的に行い、スタートアップの成長とイノベーションの促進を図る。そのつながりを拡大し、広域エコシステムを構築していく  
(取組例) テーマ別エコシステム拠点形成・連携強化、スタートアップの実証実験の実施支援や実証・実装フィールドのコーディネート機能の整備等

### 3 . 見える・魅せ る東京へ



国内・海外双方のスタートアップにとって魅力的なエコシステムを構築するとともに、エコシステムの可視化を図り、国内外におけるプレゼンスを向上。つながりを体感できるエコシステムを形成  
(取組例) 海外有力アクセラレータ等と連携したスタートアップのグローバル化支援や海外スタートアップと東京のエコシステムプレイヤーとの交流促進プログラムの提供、海外スタートアップ上場支援、グローバルスタートアップイベントの拡張、東京スタートアップエコシステムツアアの造成 等

### 4 . 国との連携



タイムリーな規制緩和や、国施策のとの連携・国施策の積極的採択等により、グローバル拠点都市として日本の成長戦略に貢献していく  
(取組例) 規制緩和ワンストップ窓口の設置、有望スタートアップへの支援の充実 等

コンソーシアム会員からの、多様なアイディア、リソースにより、新たな座組をつくり、これらの取組を実施、実現

## 重点取組 ディープテック分野のスタートアップ拠点形成支援

「未来投資戦略」においても、AI、ロボット、ブロックチェーンといったディープテック分野でのイノベーション推進、大学と連携した産学官連携のイノベーション創出の重要性が指摘されている。

東京においては、**大学や研究所のシーズ実装のためのソフト・ハード施策を総動員、広域フィールドで実証・実装を強力に推進** 研究シーズを活用するディープ・エコシステムの形成

**都心部の  
知の集積・シーズ**  
東大、慶應義塾大、早稲田大、東工大、東京医科歯科大

### ディープテック分野のスタートアップ支援に不可欠な要素を強化

#### 場の形成

・実証実験フィールドのワンストップ窓口化

#### 資金の流動化・多様化

・VC,CVCによる資金供給ルートの多様化

#### 人材育成・流動化

・研究マネジメントシーズとニーズのつなぎこみ人材の発掘・育成（オープンイノベーション創出）

+ 大胆な規制緩和でこれらを広範にカバー、迅速な実現を目指す

### 和光市

・理研のシーズ活用  
・インキュベーション  
・土地区画整理事業や再開発ビル事業を推進、オフィス・ラボを誘致

### つくば市・茨城県

・国研等のテック系シード  
・ディープテックスタートアップへの実証フィールドの提供

### 川崎市

・K-NIC等研究開発型ベンチャー支援の実績  
・LIC  
・殿町エリアの研究シーズ、インフラ

### 横浜市

・横浜市YOXOBOX、神奈川県SHINによるスタートアップ支援  
・みなとみらい21地区のR&D集積  
・I・TOP、LIPによるオープンイノベーションと実証の場の提供

## 東京コンソーシアムでのディープ・エコシステムの取組具体例①：技術実証フィールドの提供と社会実装への支援

【主な関係者：東京都（事務局）、広域自治体等、コンソーシアム会員企業】

（取組概要）大学や企業の有する優れたシーズを迅速に事業化するため、実証から実装までのプロセスの効率化を目指し、フィールドを提供しうる自治体や事業者へのコーディネートを経営をシステム化。

（コンソーシアムでの取組ポイント）

コンソーシアムメンバーの広域におけるリソースをコーディネートすることで、多様かつ豊富な候補フィールドを確保。

東京コンソーシアムにおいて、実証実験フィールドを求める企業-フィールド提供間の調整をあっせんし、迅速で効果的なマッチングを支援。企業に対しては自由度の高い技術実証フィールドを提供することができる一方、フィールドとなる自治体にも先進的な技術の実証を地元で行うメリットを提供。

コンソーシアムにおいて事例を積み重ね、ノウハウを蓄積することにより、将来的にはよりアーリーステージのスタートアップや日本での技術実証が未成熟な外国企業・外国スタートアップに対して活用しやすい仕組みを実現し、ビジネス展開を支援。

実装段階では、都心部を先行ユースケース等にし、次段階では全国への利便性の波及やビジネス拡大へ進行。

（取組イメージ）東京ガスのセグウェイを用いたガス漏洩点検

～これまでの大企業による実証実験取組を、コンソーシアムでのコーディネートによりスタートアップ等を対象に展開～

- ・東京ガスがセグウェイを活用したガス漏洩点検について、実証実験をつくば市において実施。
- ・人口密集による実証実験の困難さが少ないフィールドを活用し、都心部では難しい実験を実現。
- ・この実証成果を踏まえて、都内での社会実装に向け国と協議中。将来的にはより広いエリア等での活用も望まれる技術となっている。



写真：つくば市提供



## 重点取組 アジアナンバーワンのグローバルスタートアップ・ハブ形成

東京に集積する様々な資源を活用するとともに、場・カネ・ヒトを強化、東京ならではの世界とのつながりをつくり、アジアのスタートアップ・ハブを形成

### 場の強化

- ・RISE等世界の主要なテック系イベント、500 Startups等アクセラレータプログラムの誘致
- ・CIC Tokyoの開設（2020年夏）
- ・主要アクセラレーターへのエントリーを組織的にバックアップ（大学発のディープテック・スタートアップをYC等に）

### 資金の流れの強化（市場の活性化）

- ・証券取引所、信託銀行、証券会社等と連携し、海外の優れたスタートアップの日本市場への上場を支援
- ・海外のスタートアップ・エンジェル投資家との関係を強化

### ヒトの流れの強化

- ・海外スタートアップと東京のエコシステムプレイヤーとの交流促進プログラム
- ・高度人材等確保プログラム

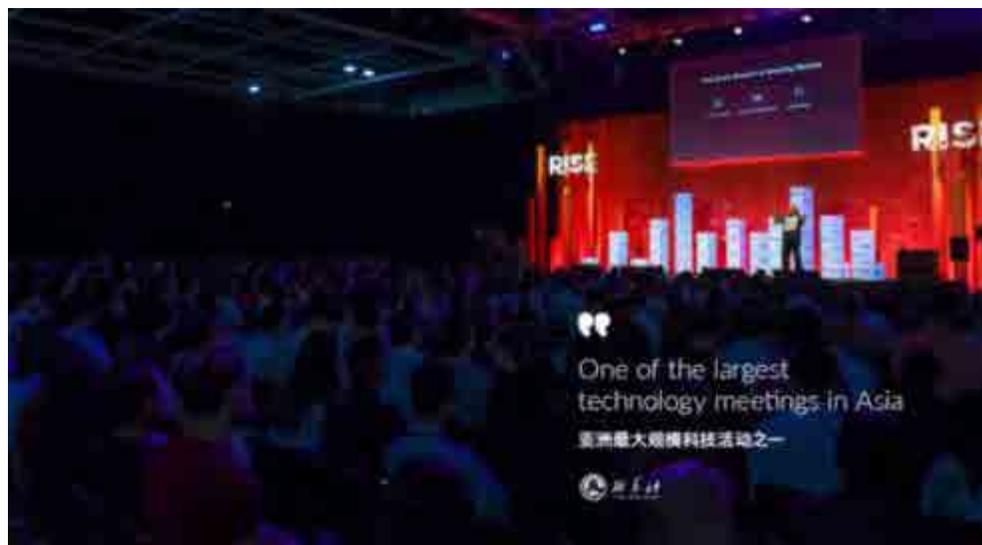
**東京コンソーシアムを活用した新たなつながりを創出することによって、ディープテックへの集中支援、エコシステムのグローバル化を達成、世界的にも群を抜くような画期的なスタートアップ・エコシステムを東京に形成**

## ○場の強化の具体例：大規模イベントの広域展開・機運醸成

【主な関係者：イベント主催者、東京都、経済産業省、広域連携自治体】

- RISE等の大規模スタートアップイベントの東京での開催を、コンソーシアムとして誘致。地元からの支援体制の充実を図るとともに、東京エコシステムにおけるスタートアップ支援・イノベーション創造の機運を高める。
- 関連イベントや分野特化型のセッションを特性に応じ広域連携自治体で開催、また有望スタートアップなどを全国からも募り、海外とのエコシステム連携形成の機会としていく。

(過去のRISEの様子)



写真：RISE Hong Kong ホームページより



写真：RISE Hong Kong ホームページより

## 3. エコシステムの顔となるリーダー

東京コンソーシアム理事が中心となり、各シーンにおいてそれぞれの役割の下エコシステム形成を推進



## 1. 首長の方針(小池都知事発言)

### (令和2年1月22日 スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム設立会合)

- ぜひ、東京コンソーシアムに、尖った技術を持った人や企業、そして資金が集まって、化学反応を起こすプラットフォームの役目を持っていただきたいと、このように思います。そして、産学官一体となって連携しながら、好循環になるような、そんな流れをつくっていきたいと考えております。
- 国の「拠点形成戦略」において公募予定の「グローバル拠点都市」につきましても、選定を目指そうとしているところでございまして、国とも連携を図りながら、世界に通ずる成長企業・ユニコーン企業等を生み出せるような、そんなプラットフォームにしていきたいと考えております。新しいチャレンジ、挑戦を行う方々がこぞって活躍できるように、勢いをもってやっていきたいと思っております。

### (令和元年第三回都議会定例会)

- ベンチャー企業、投資家、研究機関など、多様な主体が集積・連携し、新たなビジネスモデルを創出する「エコシステム」の形成が、世界の都市で急速に進んでおります。激しさを増す国際的なイノベーション競争に打ち勝つべく、東京においても、丸の内界隈など、「エコシステム」の形成を担う3つのエリアを認定いたしました。多様な主体を繋ぐ人材の派遣や国内外へのPRなど、集中的な支援を展開をし、イノベーションの好循環を生み出す環境整備をさらに加速してまいります。
- また、起業家の裾野を広げる取組として、子供たちへの起業家教育を推進をいたします。都内小中学校での実施に向けた相談窓口の設置や、起業体験イベントの開催等を通じて、起業が将来の選択肢の一つとなるよう、子供たちの関心を高めていきたいと存じます。

### (平成31年第一回都議会定例会)

- グローバル企業が躍進する世界を舞台に活躍し、東京の成長を牽引するベンチャー企業を数多く生み出したいと思っております。企業の発展の段階に応じまして、経営、技術、資金の面から多彩な支援を展開いたします。
- 女性ベンチャー育成プログラムでは、事業の発展が期待でき、多くの女性の目標ともなり得る女性起業家に対し、さらなるスキルアップを目指すプログラムや、海外で研鑽を積む機会を提供いたします。

## 2. スタートアップ支援

(1) 総予算額 111億69百万円 (令和2年度予算)

(2) 主な支援事業

### **エコシステム形成促進事業 (1億95百万円)**

大手企業や、投資家、大学、研究機関、創業支援機関など様々な関係者が連携してイノベーションの創出を図る「エコシステム」の形成促進に向けた支援・取組を実施。

### **創業支援拠点の運営 (6億80百万円、多摩4億93百万円 計11億73百万円)**

創業希望者を掘り起こし、裾野を広げるとともに、起業に対する不安を解消するため、創業に関心のある誰もが利用でき、情報提供から事業化支援までをワンストップで行う拠点を開設。

### **次世代アントレプレナー育成プログラム (1億34百万円)**

次世代を担う若者を対象としたビジネスプランコンテストを開催し、起業に挑戦する機会を提供する。受賞者には、経営者としての資質やリーダーシップを磨くための育成メニューも提供。

### **共存共栄を図るベンチャー育成事業 (4億24百万円)**

成長志向のあるベンチャー企業の更なる成長を支援するために、国や地域、業種・業界を超えた連携関係・事業組成を生み出すための支援施設を設立・運営するとともに、育成プログラムを実施。

### **スタートアップ・グローバル交流HUB事業 (6億37百万円)**

有望な都内スタートアップの海外進出とスケールアップをサポートするため、海外の展示会・大規模ピッチ会に参加する海外現地プログラムを実施。また、有望な海外スタートアップを東京に呼び込む交流プログラムを実施。

### **創薬系オープンイノベーション支援事業 (2億20百万円)**

製薬企業、支援機関、投資家等が集積する東京の強みを活かし、創薬・医療分野におけるオープンイノベーションの促進を支援。

## 3. スタートアップ支援組織

### (1) 担当部局名 担当者数

産業労働局 商工部 創業支援課 15名

産業労働局 金融部 金融課 5名

戦略政策情報推進本部 戦略事業部 特区・戦略事業推進課 16名

### (2) 支援の顔となる職員

・産業労働局 商工部 創業支援課

・戦略政策情報推進本部 戦略事業部 特区・戦略事業推進課

- 東京都におけるスタートアップ支援は、東京都及び連携団体がそれぞれの得意分野を活かし、的確な支援ができるよう、組織として取り組んでいる。また、東京ではすでに民間主導でも、地域ごと・テーマごとの多様なスタートアップ・エコシステムの形成が進んでおり、それぞれのコミュニティがキーパーソンの下主体的に活動している。

## 4. 民間組織との連携

イノベーション・エコシステムの形成に取り組む民間団体等を認定し、エコシステム内の連携を主導する人材（コミュニティマネジャー）や、エコシステムにおける共同プロジェクトの推進を支援する人材（ケースオフィサー）を登用・派遣。

都のエコシステム形成に向けた取組に賛同する民間企業・団体等（170社超）を「スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム会員」として登録。イベントの共同開催、都のスタートアップ支援施策等への協力を実施。

その他、民間事業者の知見を活用し、都の予算事業を実施。

### 5. グローバル化への対応 (スタートアップVISA制度など)

- ビジネスコンシェルジュ東京：起業や事業展開を検討している外国人や外国企業向けに、ビジネス面から生活面までをトータルに支援する総合窓口。赤坂・丸の内内の2か所に設置。平成24年度～令和元年度迄の約8年間で累計10,811件の相談に対応。
- 東京開業ワンストップセンター：東京での起業にあたり法人設立や事業開始時に必要な行政手続（定款認証・登記・税務・年金/社会保険・入国管理）を1か所で可能にする施設。平成27年度～令和元年度迄累計で13,222名（うち外国人4,039名）が利用。
- 外国人創業活動促進事業：東京都が、創業活動に係る事業の計画の確認を行うこと等により、創業外国人上陸審査基準を満たす外国人への「経営・管理」ビザの付与を可能とし、外国人の創業活動を促進。平成28年1月～令和元年度迄の累計申請実績は139件。

その他、国家戦略特区制度を活用し、東京において創業活動を行う外国人の生活環境の充実に努めている。

有望な都内スタートアップの海外進出とスケールアップをサポートするため、海外の展示会・大規模ピッチ会に参加する海外現地プログラムを実施、また有望な海外スタートアップを東京に呼び込め交流プログラムを実施する「スタートアップ・グローバル交流HUB事業」を展開。また、スケールアップを目指す女性起業家向けの短期集中型育成プログラム「A P T - W O M E N」を実施し、ロールモデルとなるような女性スタートアップの創出を図る。

## 6. 他の自治体等との連携 (都道府県と市区町村の連携、連携都市など)

- 都内においては、渋谷区において自治体(渋谷区)と民間事業等が連携してエコシステムの形成・スタートアップの成長を支援するまちづくりを積極的に推進。(具体的な取組内容は次頁参照)
- また、都内のみならず、周辺のエコシステム拠点都市である川崎市、横浜市、和光市、つくば市、茨城県との広域連携を実施。実証実験フィールドの組成やコンソーシアム会員の交流強化に取り組んでいく。(各都市での取組は参考資料を参照)
- これらに加え、成長志向のあるベンチャー企業の更なる成長を支援するために、海外や全国の各地域、業種・業界の枠を超えた連携関係・事業組成を生み出すための支援施設(NEXs Tokyo)を都内に設立・運営するとともに、育成プログラムを実施する「共存共栄を図るベンチャー育成事業」を実施。



## Special Startup District Shibuya (仮) 渋谷スタートアップ特区

### ○渋谷区長の方針

世界を引き付ける渋谷カルチャーという魅力と、産官学民 + スタートアップが相乗する、現在の国内トップのエコシステムをさらに拡張させ、世界と伍するオープンイノベーション都市へ成長させる。

### ○渋谷の既存のエコシステム

渋谷は全国に先駆け90年代後半からスタートアップ・エコシステムが形成され、現在も東京のスタートアップエコシステムの中心地となっている。

◆渋谷区のスタートアップ数：1651（23区中1位）

出典：「スタートアップ・データベース」  
（株式会社ベンチャー・リサーチ）

VC/CVC / Co-Working数：48（23区中2位）

出典：「VC/CVC会員一覧」  
（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）

### ○渋谷区の体制

○担当部署の新設：エコシステム担当として田坂克郎を採用。同人はシリコンバレーで14年以上ネットワークを構築してきた他、スタートアップのVP、役員を歴任。4月には田坂に加え2名を増員

○既存のプレーヤーとの連携：令和元年12月コンソーシアムを設立。渋谷区、渋谷未来デザインを中心に、渋谷を拠点にするスタートアップ、メガベンチャー、東急グループの様々なスタートアップ支援機関、EDGEof他多数のスエコシステムビルダー、大企業、大学、団体、東京都と課題別の連携を計画している。

○QWSを通じた大学との連携。海外の大学・研究機関の招致。

### ○スタートアップの声

2019年12月～2020年1月にかけてスタートアップ企業他へのアンケートを実施。下記サマリー：

#### 開業前の課題：

- 銀行、オフィス等の契約（信用がない）
- 人財の確保
- 資金調達
- 開業手続き

#### 開業後の課題：

- 人財・資金の確保
- 弁護士等専門家のレグジ
- メンター・ロールモデルの出会い
- 廃業手続きが困難

#### 学生起業の課題：

- 学業（単位）と企業活動との兼ね合い
- 情報・出会いの欠如
- インターン有機會

#### 海外スタートアップ招致の課題：

- 言語サポート（表記）
- 外国人への減税
- オンラインで手続きできる仕組み
- 生活の立ち上げの難しさ

#### 規制緩和：

- 雇用保険料免除
- 雇用法の規制緩和（正規雇用者を解雇しやすく or 非正規雇用の保護、or 副業しやすい制度の設置）
- サンドボックス制度（実証・実装の場合）
- 個人投資家・VC、CVC等への減税・免税
- スタートアップビザの長期化、簡易化
- 外国人投資家向けビザ
- 外国人エンジニア・研究者向けのビザ
- 外国人への減税
- 開業・廃業の簡易化
- 投資が中長期のできる仕組み
- キャピタルゲインへの減税
- Sharingエコノミーへの規制緩和

### ○渋谷区のアクションプラン

1. 海外のアクセラレーションプログラムの設置
2. 行政書類へのサインの導入
3. 与信サービスを含めたインフラ整備
4. 起業に必要な情報の提供
5. オンラインでの登録サービスの提供（行政）
6. 女性起業家支援プログラムの実施
7. コミュニティ形成プログラムの実施
8. 実証実装の機会を提供
9. 海外スタートアップ支援（ワンストップ開設）
10. 渋谷のスタートアップの海外進出支援
11. 渋谷スタートアップシーンの世界発信
12. 海外への招致活動
13. スタートアップが育つ環境の整備



令和元年12月 渋谷コンソーシアムキックオフ

## 7. 国の施策との連携 (特区、地方創生交付金事業など)

国家戦略特区を活用し、以下スタートアップ・起業家の支援を実施

- 【創業】
  - ・外国人創業活動促進事業【申請件数全国一(139件)】
  - ・東京開業ワンストップセンターの設置【全国唯一初】
  - ・公証人役場外での定款認証に係る公証人法の特例【全国唯一】
- 【雇用】
  - ・東京圏雇用労働相談センターの設置
- 【近未来技術】 東京自動走行ワンストップセンター【全国初】、特定実験試験局制度に関する特例
- 【税制優遇】 設備投資促進減税に係る課税の特例、エンジェル税制
- 【都市再生】 都市計画法の特例 26件(既認定)
- 【医療】 二国間協定に基づく外国医師の業務解禁 4件【全国唯一初】

### 今後、下記国施策における国との連携を積極的に提案・推進していく

○各施策における、グローバル拠点都市、参画団体への情報提供

○各施策における、拠点都市枠の設定等による積極的採択 等

(検討例)

【経】グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業(J-startup)

- ・対象スタートアップ選定におけるグローバル拠点都市枠の設定または積極的採用
- ・コンソーシアム加盟団体等が支援するスタートアップのJ-Startupへの積極的採用
- ・イノベーターの育成における、拠点都市参画主体との連携 等

【経】研究開発型スタートアップ支援事業

- ・認定VC選定におけるグローバル拠点都市への積極的案内 等

【文】次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)

- ・新たにEDGE-NEXTの枠組みに参画できるコミュニティの設置について、グローバル拠点都市からの参画 等  
共創の場形成支援プログラム

- ・プログラム採択における拠点都市参画主体への積極的案内

大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)

- ・プロジェクト採択における拠点都市参画主体への積極的案内 等

## 7. 国の施策との連携 (特区、地方創生交付金事業など)

### 国機関との連携...具体的に下記の連携を検討していく。

NEDO、JSTとの連携による技術シーズ実用化・展開支援

【主な関係者：NEDO、JST、東京都（事務局）、コンソーシアム会員】

（取組概要）

NEDOやJSTの技術シーズ育成事業に採択されたスタートアップや技術シーズについて、事業化やスケールを支援するため、優れた技術を求める大企業等コンソーシアム会員に優先的に紹介するプラットフォームを構築。

（NEDO・JST側事業想定例）

研究開発型ベンチャー支援事業（NEDO）、

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（NEDO）、

未来社会創造事業（JST）、研究成果展開事業（JST）、

○JETROとのプロモーション連携

【主な関係者：JETRO、東京都（事務局）、コンソーシアム会員】

（取組概要）

東京のスタートアップ・エコシステムを海外PRにおいて、JETROと連携し、プロモーションツアー実施等において海外の主要エコシステムや関係者へ効果的にアプローチし連携構築を行う。

## 8. スタートアップ調達 (トライアル発注制度など)

東京都内中小企業の新規性の高い優れた新商品及び新役務（サービス）の普及を支援するため、新商品等を認定しPRする東京都トライアル発注認定制度を実施。  
認定商品は、随意契約により都の機関が購入することが可能。また、トライアル発注事業において認定商品の一部を試験的に購入し、都の機関等で使用・評価したうえで、その結果を公表。

世界を席捲するスタートアップの輩出サイクルを確立し、先端事業（イノベーション）による東京の成長と社会課題の解決を目指すため、都政現場を活用した実証実験、トップセールス、成功モデルの水平展開を実施。都政課題の解決に資すると認められたソリューションについては、実証実験終了後も引き続き調達できる制度を導入。地方自治法施行令第167条の二1項4号に基づく政策目的随意契約の制度を新たに創設し、東京都として、スタートアップからの調達により都政課題の解決に継続して取り組む。

## 1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

東京コンソーシアムには、17社のVC、3社のアクセラレータが加盟

**日本ベンチャーキャピタル協会**：東京にほとんどのVCが集積、資金の出し手の主要機能  
VCベンチマーク作成による機関投資家からの資金調達の強化と、キャピタリスト研修等によるVC  
プロフェッショナルの育成、大学発ベンチャー創出シンポジウムなどを開催

### 渋谷エリア関連：

・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産：  
世界的アクセラレーターであるPlug and Play Japanのアクセラ  
レート拠点。  
渋谷の特徴であるダイバーシティの強みを活かし、スタートアップ企業  
×大企業の連携だけでなく、大企業×大企業や行政×大企業  
×スタートアップ企業などが生まれるコンソーシアム型のアクセラレート  
が展開される。  
・東急アクセラレートプログラム：  
東急グループの事業者が持つ様々なアセットやリアル顧客接  
点等を活用し、用途開発支援と社会実装支援を行うスタート  
アップ支援プログラム。過去受賞企業として、ABEJA、Huber、  
WAmazing、アスラボ など

### UTEC（東大エッジキャピタルパートナーズ）：

・国内外の大学・研究機関のシーズを事業化するスタートアップの  
共同創業や投資育成  
・東大発に限らないシーズの発掘・育成・投資  
・フォース上位の投資成果

### 大手町・丸の内・有楽町エリア関連：

・三菱地所が第3回目となるアクセラレータープログラム2019を開催。  
実証実験フィールドの提供、ビル・商業施設等のビッグデータの活用、  
出資検討、コワーキングスペースの提供、メンター支援等の支援を実  
施する。  
・TMIPの民間VCパートナーとしてBEENEXT, Coral Capital, DNX  
Ventures, NVCC, Sozo Ventures, Translink Capitalと連携し、  
大企業とスタートアップマッチングの促進。

### 六本木・赤坂・虎ノ門エリア関連：

・多くのベンチャーキャピタルが集積するKaleidoWorksでは、ベン  
チャーキャピタルによるスタートアップ企業へのハンズオンによる事業  
拡大の支援や起業家やキャピタリスト人材の育成プログラムなどが  
開催される。（JVCA、森ビル、IncubateFund、  
BdashVentures、GreeVentures）  
・サムライインキュベイト、スパイラルベンチャーズなど、様々な大企  
業のアクセラレータープログラムの運営を支援するプレーヤーが拠点を  
構え活動を行っている。

### KII（慶應イノベーション・イニシアティブ）：

・大学の成果を活用したSociety 5.0、医療・健康分野のディープ  
テックスタートアップへの投資  
・慶應義塾大学と連携したアクセラレータープログラムや、ビジネスブ  
ランコンテスト、アントレプレナーシップ教育、研究成果の事業化支  
援などを実施  
・SVJPと連携して、海外トップアクセラレーターへの応募を促進する  
イベントを開催

## 2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

### 経団連：大企業とスタートアップの連携・オープンイノベーションの加速

2019年5月にスタートアップ委員会を設立し、スタートアップ振興のための環境整備（政策提言など）、スタートアップと大企業との連携促進に取り組んでいる東京商工会議所：

2019年11月に新事業・イノベーション創出委員会を設立し、起業・創業の促進、大企業とスタートアップ企業の連携に取り組む

### 渋谷エリア：IT・クリエイティブコンテンツ系企業の集積 （東急不動産）

Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産 Plug and Play Japanのアクセラレート拠点であると共に、一般会員も入居可能なインキュベーションオフィス。

#### GUILDシリーズ

優れた技術やアイデアを有するスタートアップが集い、切磋琢磨しながら成長を遂げる場になる事を目指すコンセプトのインキュベーションオフィス。施設の中核にはベンチャーキャピタル等のスタートアップエコシステムビルダーが居を構え、その支援先が同居することで密度の濃いメンタリングが行われる。

（東急）

SHIBUYA QWS 子会社である渋谷スクランブルスクエア株式会社が運営：日本のスタートアップエコシステムにおいて課題とされているシード支援・Exitのうち主にシードの支援をするために、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、新たな社会価値の創出を加速させるオリジナルのプログラムやイベント、コミュニティの醸成に取り組む。

### 六本木・赤坂・虎ノ門エリア：外資系企業が集まる国際ビジネス拠点 （森ビル）

新しいテクノロジーを活用した都市機能や都市生活のアップデートを実現するため、様々なスタートアップの新技术や大企業の豊富なりソースの実証フィールドの提供、マッチングや協業支援、情報発信等を行う。

・イノベーションリーダーズサミット（2015年～ 年1回）

大企業と国内外のスタートアップが一堂に会するパワーマッチングを中心に、カンファレンス、でも展示などが展開。

・虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」（2020年4月開設予定）

新規事業創出を目指す大企業の出島集積。施設が提供する新規事業創出メソッドプログラムなどを開催し、入居企業を支援する。

### 日本橋エリアほか：AI・ライフサイエンス関連のイノベーション拠点

ライフサイエンス・エコシステム構築による「新産業創造」

・一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）を設立、ライフサイエンス分野に従事する人のための「人と情報のプラットフォーム」として活動

・三井不動産にて日本橋エリア9 拠点に「人と情報が集まる場」を整備

AIをはじめとしたスタートアップエコシステムの構築

・理研やトヨタ等のAI関連の研究機関が集積、日本橋エリア内でのAI関連の社会実験も積極的に実施

・E.A.S.T.構想（日本橋を中心とした東京の東側で、スタートアップの成長と大企業のイノベーションを同時に実現するエコシステムを作る）の推進

・三井不動産と地域SNSアプリ「PIAZZA」が連携して、デジタルとリアルの融合により日本橋で働く人を中心としたコミュニティ形成を促進するプロジェクト「日本橋コミュニティ・エコシステム」を推進中

### 大手町・丸の内・有楽町エリア：日本有数の大企業が集積する中心地 （三菱地所）

・アクセラ レータプログラムの展開、Inspired.Lab, FINOLAB, SAAIをはじめとするインキュベーションオフィスを展開。

・「Marunouchi Urban Tech Voyager」と題し、ドローン、自動運転タクシー等街中で様々な実証実験を展開。

・富士通と三菱地所にて丸の内データコンソ シアムを設立し、様々なデータ利活用を展開。

【一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会】

・Tokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)を2019年8月に発足し、産官学の協働・共創を支援。

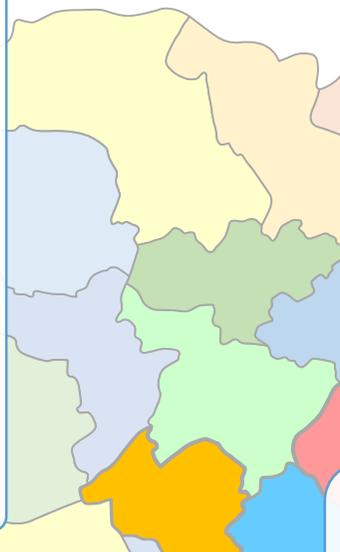
## 3. エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組

### 渋谷エリア：

Phillip Seiji Vincent  
(フィリップ・誠慈・ヴィンセント)  
所属：Plug and Play Japan：  
Managing Partner



伊藤秀俊  
所属：東急不動産株式会社・  
Plug and Play Japan：  
Champion  
プラットフォームーズミーティング  
コミュニティマネージャー



### 日本橋エリア：

・一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J) において、スタートアップ、大企業、官公庁、業界団体などの集積、コミュニティ形成、スタートアップ支援、産学連携支援を実施。2020年2月現在、会員数は437にのぼる。  
・また、起業の経験者、様々な領域に卓越した知見・人脈を有する有識者などがLINK-Jサポーターに就任し、活動をサポート。



LINK-J理事長 岡野 栄之

### 六本木・赤坂・虎ノ門エリア：

・海外企業の日本進出を支援する取り組みとして、パートナーとなる日本企業との協業支援や、ジャパンエントリー戦略立案の支援等を実施。  
・ベンチャーカフェ活動を通じて、産官学、スタートアップやソーシャルアントレプレナーなど、多様な人材の交流機会を創出。協業や人材交流のきっかけとなる活動を定期的開催。  
・大企業における新規事業人材の育成、組織開発を通じ、スタートアップとの連携や大学のシーズを活用した大企業の事業創出を支援する活動を行う。



アンカースター 児玉氏



WIL 伊佐山氏



ベンチャーカフェ 山川氏

### 大手町・丸の内・有楽町エリア：

・早稲田大学入山章栄教授、TomyK鎌田代表をはじめとする日本のイノベーションを先導する有識者がTMIPアドバイザーに就任。  
・SAAIのプロデューサー主導による「おもいつきを、カタチにする『STUDIO』」の開設（少人数単位で特定のテーマを深掘する仕組み）。  
・Inspired.LabにおいてSAPのデザインシンキングを核としたイノベーションフレームワークを活用し、イノベーションの早期実現を推進。  
・FINOLABにおいて、日本を代表するFinTechのエバンジェリストである柴田誠氏を運営責任者とし、一般社団法人金融革新同友会 FINOVATORSの協力の下、コミュニティ活動を推進。



早稲田大 入山教授



TommyK 鎌田代表



FINOLAB 柴田所長

## 1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(1/2)

コンソーシアムには現在10大学が加盟。

### 慶應義塾大学

- 医学部 健康医療ベンチャー大賞
  - ・日本初の医学部主催ビジネスコンテスト
  - ・慶應ビジネススクールと理工学部との共催により、医療・ビジネス・技術の三つの面から参加チームのプランを強力にサポート（医療ビジネス専門家のメンタリング、医療従事者へのヒアリング等）
  - ・学内外を問わず、学生/社会人の両部門でビジネスプランを公募(2019年度は130以上のエントリー)
- 慶應義塾大学イノベーション推進本部 設置- 人生100年時代の健康長寿を支えるスマート社会の創成 -
  - ・イノベーション創出/イノベーション導出/起業創出の3つの機能。構成員の半分以上に産業界の人材を登用
  - ・メディカル・ヘルスケア領域、スマート社会領域で、今後、起業創出・支援機能をさらに強化
  - ・大型産学連携共同研究プロジェクトの創出
- 一般社団法人 SFCフォーラム SFCフォーラムファンド
  - ・SFC (湘南藤沢キャンパス)では開設以来熱心に起業家教育に取り組む (専任スタッフ配置、インキュベーション施設設置)
  - ・主にSFC初の/SFCと連携した、社会に認知されていないアイデアの事業化を図る起業家対象のスタートアップ向け投資ファンド
  - ・投資額は1000～3000万円/1回程度の、シード期に特化したファンド (日本版エンジェル)
- 慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)主催 慶應科学技術展「KEIO TECHNO-MALL」
  - ・理工学部の研究成果を紹介。技術とビジネスの「Watering Hole (水飲み場)」として設計された技術展。来場者2000名/1日。
  - ・ベンチャーゾーン設置。尖った技術を活用した新規事業、新規市場開拓への支援アピール
- 慶應義塾大学医学部発ベンチャー協議会
  - ・医学部発ベンチャー16社による任意団体。創業者の精神・独立自尊の考えのもと自主的に行動
  - ・ベンチャーエコシステムの醸成を目標に、起業者自身の学びの場を作るとともに大学や社会へ発信

# 大学の取組(2/6)

## 1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(2/2)

<b>東京大学</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○学内インキュベーション施設の提供<ul style="list-style-type: none"><li>・アントレプレナープラザ（本郷）、アントレプレナーラボ（本郷）、インキュベーションルーム（駒場）、アントレプレナーハブ（柏）</li><li>・累計83社が利用（上場企業4社、M&amp;Aも数社）</li><li>・アントレプレナーラボ内には、共用バイオ実験室や共用オフィスも設置</li></ul></li><li>○主に卒業生起業家を対象したプレ・インキュベーション・プログラム（FoundX）の提供<ul style="list-style-type: none"><li>・起業前後の超初期のフェーズの起業家に、個室やワーキングスペースおよび各種教育プログラムを提供</li></ul></li><li>○起業相談・経営相談窓口の提供<ul style="list-style-type: none"><li>・弁護士事務所による法務サポート、公認会計士による経営相談会、メディアへの紹介、営業支援など各種の経営支援</li><li>・インキュベーション施設入居企業を中心としたネットワーキング・イベントの開催</li></ul></li><li>○東京大学協創プラットフォーム開発（株）（100%子会社）<ul style="list-style-type: none"><li>・ベンチャーファンドへの出資促進および大学と連携した案件創出活動</li></ul></li><li>○ギャップ・ファンドプログラムの提供<ul style="list-style-type: none"><li>・研究成果の実用性の検証又は向上を目指す研究課題に対し、経費の助成及び助言等の支援</li></ul></li></ul>
<b>東京工業大学</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○東工大発ベンチャー称号<ul style="list-style-type: none"><li>東工大の研究成果・人的資源を活用して起業されたベンチャー企業から申請があった場合に、東工大発ベンチャーの称号を付与（2003年から開始し、2019年末で110社（2019年度末で118社を予定））。</li></ul></li><li>○山手線・田町駅前にスタートアップ支援拠点<ul style="list-style-type: none"><li>2020年4月から田町キャンパス（東京都港区）で東工大発ベンチャー4社に施設提供を開始。JR山手線駅前の利便性を活用し、同一フロアに、コワーキングスペース（学生等が利用する起業準備スペース）を用意。</li><li>さらに、田町キャンパスの再開発により、国内外の大学、企業及び研究機関等との戦略的パートナーシップと共創型コミュニティを形成し、10,000㎡を超える都心型の大型コミュニティ・ワーキングスペース、インキュベーション施設、新技術の情報発信スペースを提供（2029年供用開始予定）。</li></ul></li><li>○</li></ul>
<b>早稲田大学</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○2001年に学内に開所したインキュベーションセンターは、学内施設での法人登記を可能とし、ビジネス・コンサルティングや各種ネットワーキング・イベントを展開し、商学部開講科目「起業家養成講座」とも連動して多くの起業家・ベンチャーを輩出してきた。</li><li>○これに加え、昨今はWaseda EDGEプログラム（後述のEDGE-NEXT採択事業）により理工系学生・文系学生の起業を強力に推進している。</li></ul>

## 2. 地域の大学における起業家教育の取組(1/2)

慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○殿町キャンパス</li> <li>・ヘルスケア領域アントレプレナー育成 Tonomachi Edge : システムデザイン思考の手法を導入して、ヘルスケア領域におけるイノベーション創出を促進</li> <li>・ASG慶應反分野的研究フォーラム : 全く異なる分野同士のアイデアの融合や人の交流から新たな科学的発展が生まれることを目的として、若手研究者、学生、企業人らが垣根を越えて語り合う場と機会</li> <li>・ジュニアドクター育成塾 KEIO WIZARD : 社会にあるニーズに目を向け、科学の力で応えるパスツール型の発想や行動、起業家マインドを持つジュニアドクターの育成</li> <li>○三田・日吉キャンパス 法務研究科・経営管理研究科：新事業創造体験講座</li> <li>○日吉キャンパス 経営管理研究科：ベンチャーキャピタリスト講座、起業体験講座、経営戦略におけるアントレプレナーシップ講座</li> <li>AI・高度プログラミングコンソーシアム AIアントレプレナー講座（2020年4月設置）</li> <li>○矢上キャンパス 理工学研究科：ベンチャー企業経営論講座、アントレプレナー育成寄附講座</li> <li>○信濃町キャンパス 医学研究科（修士課程）： ・アントレプレナー育成コース（2020年4月設置）...医学＋企業家精神の形成、画期的な大学院コースの新設</li> </ul>
東京大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アントレプレナー道場</li> <li>・本学全学科の学部生、大学院生、ポスドクを対象として2005年から実施しているアントレプレナーシップ教育プログラム</li> <li>・講義、演習、ゲスト講演、ビジネスプラン・コンテスト等により構成（累計受講者数 約3,600名）</li> <li>○EDGE-NEXTプログラム（文部科学省プログラム）</li> <li>・研究者のイノベーション人材化を目指した教育プログラムを提供。</li> <li>○アントレプレナーシップ関連の授業</li> <li>・工学部「アントレプレナーシップ」、工学系研究科「Innovation and Entrepreneurship」</li> <li>・1,2年生を対象とした全学自由研究ゼミナールやスタートアップでのインターンシップ・プログラム</li> <li>○Todai To Texas プロジェクト</li> <li>・東京大学関連のスタートアップや学生プロジェクトを、South by Southwest（SXSW）の展示会に派遣、出展</li> <li>○本郷テックガレージ</li> <li>・学生が技術的なサイドプロジェクトを行なうための開発拠点</li> <li>・モノを作りたい学生が手を動かしながら失敗する溜り場を提供し、数多くの起業前プロジェクトの創出を目指す</li> </ul>

## 2. 地域の大学における起業家教育の取組(2/2)

東京工業大学	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生向け起業アイデアピッチ・コンテストを実施、学生の起業を支援</li><li>・大岡山キャンパスに、学生による学生のためのワーキングスペース『Attic Lab』を開設</li><li>・2020年度から、起業塾『STARTech』（仮称）を開設予定。これまでのアントレプレナーシップ教育に加え、起業をチャンレンジしたい学生ための実践道場。起業からスタートアップまで、起業家として必要な武器を獲得し、東工大発ベンチャー・CEO等を目指す。</li></ul>
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none"><li>・文部科学省EDGE-NEXTプログラムの採択を受け、受講生自身のビジネスを題材にした、チームで取り組むPBLプログラム（アントレプレナー・インターンシップ・プログラム）、滋賀医科大学・多摩美術大学の専門的知見を組み込んだ分野特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム、起業インターンシップREAL、カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）の知見を生かしたMicro MBAコース、スタンフォード大学d.schoolの講師を招いたデザイン思考ワークショップなどの多様なプログラムを設け、起業家の裾野づくり（Future-EDGE）プログラムから実際に起業を行うために必要なプログラムまで幅広い教育機会を提供。</li><li>・イスラエル、バブソン大学、UCSD、ルンド大学などの海外大学との連携プログラムや、海外VCとの協働も進めている。中国国家重点大学群からの学生に夏季・冬季の起業集中プログラムを提供。</li></ul>

## 3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携(1/2)

<p>慶應義塾大学</p>	<p>首都圏のアカデミア連合、プラットフォーム企業等と自治体の協業で、尖った融合研究シーズをスピーディーに社会実装に繋げる広域共創エコシステムの実現を構想(案)</p>	
<p>東京大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーション施設の運営や起業支援プログラムには、様々な民間企業から寄付や支援。</li> <li>・多様な民間企業からの支援を受けて、各種の起業家教育プログラムを実施。</li> <li>・柏キャンパスにハブ拠点を設置することにより、3都県を中心とした人材、ベンチャー、企業、技術、モノ、金を循環する流れを創造し、地域活性化に資する産学官民ベンチャー協創によるイノベーションモデルを実現する「つくば-柏-本郷 イノベーション コリドー構想」を推進。</li> </ul>	
<p>東京工業大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ支援に関して連携協定等を締結（みらい創造機構、川崎市、JETRO、横浜銀行、NEDO、Beyond Next Ventures）。出資、アクセラレーション、支援プログラム等について優先的支援。</li> <li>・東工大とBeyond Next Venturesは、2019年10月に「東工大発ベンチャー」の創出に向けた支援等に関する相互協力の覚書を締結。東工大の研究成果や知財を活用したベンチャー企業創出に向けて、東工大の教職員、修士、博士課程の学生のための事業化プランピッチ・イベントをBNV社と共催。その優勝者にはBNV社が支援を行う。</li> <li>・東工大とNEDO、2019年5月に「東工大発ベンチャー」の創出に向けた支援等に関する相互協力の覚書を締結。東工大のスタートアップ支援コンテストでの優勝者等には、NEDOのスタートアップ支援等を提供。</li> <li>・東工大と川崎市は、スタートアップ支援を含めた包括的連携協定を締結し、定期的にハイレベルな協議会を実施。</li> </ul>	

## 3 . 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携(2/2)

### 早稲田大学

・早稲田大学を主幹とするEDGE NEXT プログラム ( Skyward EDGEコンソーシアム)には東京都産業労働局・北九州市・富山県などが協力機関として参画し、地域課題の解決に貢献するプログラムを展開している。

・こうした活動に必要な資金を外部機関から多く獲得しているほか、複数のベンチャーキャピタル ( VC ) や投資家・機関が関わり、独自のGAP FUNDやDemo Dayの取り組みを支えている。

・渋谷スクランブルスクエアQWSや日本橋のライフサイエンスイノベーションLINK-J、大手町・丸の内・有楽町地区でイノベーション創発を行うTMIPとの提携を通じ、本学の研究シーズを介したオープンイノベーション、ビジネスアイデアと投資のマッチングと各種ネットワーキングの機会を増進。 例えば、スタートアップエコシステム東京コンソーシアムの設立を契機に、本学EDGE-NEXTと三菱地所TMIPが連携する形で、WASEDA Demo Dayを本年2月13日に実施。

・2018年に大学としてベンチャーキャピタル ( WERU INVESTMENT、Beyond Next Ventures ) と提携契約を結び、研究シーズのビジネス化を加速化させる投資環境を充実。現在、大学独自のPoC FUNDを準備中。

## 1 . 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

### ( 1 ) 都市の集積の概要

- ・東京都の人口は約1,395万人 (2020年2月速報値)
- ・都市圏人口は約3,800万人 (UN World cities in 2016)
- ・都内総生産は108兆2千億円 (名目、2018年度見込)
- ・資本金10億円以上の日本企業のうち約半数 (2,926社) が東京に所在
- ・日本国内の外資系企業の約2/3 (2,434社) が東京に所在
- ・4,374ものスタートアップが東京に所在 \* 最終資金調達日が2014年以降の企業をスタートアップと定義
- ・2018年の国内スタートアップ資金調達総額 (3,880億円) のうち、77.4% (3,003億円) が東京都
- ・高度で独創的なアイデアを有するものづくり中小企業の集積

### ( 2 ) 都市の環境の概要

- ・高い交通利便性、国際空港へのアクセス
- ・EIUの「アジアのベスト」Bleisure“年調査”(19年3月)で、東京が1位を獲得
- ・米コンデ・ナスト・トラベラー「世界で最も魅力的な都市」において、東京は4年連続1位を獲得
- ・森記念財団「世界の都市総合力ランキング」で東京は4年連続3位、全分野で高い評価を得てバランスが良いのが特徴。

経済 ( 4 )、研究開発 ( 3 )、文化・交流 ( 4 )、居住 ( 1 1 ) 環境 ( 2 3 ) 交通・アクセス ( 8 )

( ) 内、分野別ランキング

## 2. スタートアップ支援の中心となる施設・場 (公的施設・民間施設)

### 【その他】

- ・TOKYO創業ステーション(立川) 2020年開設予定
- ・東京大学産学連携プラザ(本郷)
- ・東京大学アントレプレナープラザ(本郷)
- ・東京大学南研究棟(本郷)
- ・東京大学FoundX(本郷)
- ・東京大学産学官民連携棟(千葉県柏市)



### 【日本橋エリア】

- ・Clipニホンバシ
- ・日本橋ライフサイエンスハブ
- ・日本橋ライフサイエンスビル

### 【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・TOKYO創業ステーション(丸の内)
- ・東京開業ワンストップセンター(丸の内サテライト)
- ・NEXs Tokyo 2020年4月開設予定
- ・FINOLAB
- ・Global Business Hub Tokyo
- ・EGG JAPAN
- ・Inspired.Lab
- ・東商創業支援センター

### 【渋谷エリア】

- ・東京開業ワンストップセンター(渋谷サテライト)
- ・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
- ・100BANCH
- ・EDGEof
- ・hoops link Tokyo
- ・Shibuya Open Innovation Lab (SOIL)
- ・SHIBUYA QWS
- ・東京大学駒場連携研究棟インキュベーションルーム

### 【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】・東京開業ワン

- ストップセンター(赤坂)
- ・KaleidoWorks
- ・Venture Café Tokyo
- ・第四次産業革命センター
- ・Anchorstar
- ・ARCH 2020年4月オープン予定
- ・CIC TOKYO 2020年夏オープン予定

# 都市の環境・繋がり(3/4)

## 3. スタートアップや支援者の交流する場 (シェアオフィス、カフェなど)

### 【その他】

- ・東京コンテンツインキュベーションセンター (TCIC) (中野)
- ・東京大学産学連携プラザ (本郷)
- ・東京大学アントレプレナープラザ (本郷)
- ・東京大学南研究棟 (本郷)
- ・東京大学産学官民連携棟 (千葉県柏市)
- ・インキュベーション施設運営計画認定事業 (42事業者)
- ・行政課題解決型スタートアップ支援事業における支援拠点

### 【日本橋エリア】

- ・Clipニホンバシ
- ・BEAKER
- ・LAUNCH
- ・日本橋ライフサイエンスハブ
- ・日本橋ライフサイエンスビル

### 【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・NEXs Tokyo 2020年4月開設予定
- ・東京21Cクラブ
- ・3×3LabFuture
- ・SAAI
- ・創業塾交流会 (東商)

### 【渋谷エリア】

- ・青山創業促進センター (ASAC)
- ・東京大学駒場連携研究棟インキュベーションルーム
- ・GUILD道玄坂
- ・GULD渋谷
- ・GUILD神南坂
- ・GUILD青山 (港区)
- ・アジアビル
- ・Cift
- ・co-lab
- ・つながりシェア保育園・代々木上原

### 【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- ・ベンチャーカフェ東京
- ・イノベーションリーダーズサミット
- ・アカデミーヒルズ
- ・ビジネス発信拠点 (仮称) 虎ノ門ヒルズステーションタワー 2023年開設予定



## 4 . スタートアップ関連イベントの開催状況

### 【渋谷エリア】

- ・グローバルベンチャー創出プラットフォーム (X - HUB TOKYO) (2018) (渋谷ストリーム)
  - ・APT Womenキックオフイベント(2019) (ベルサール渋谷ファースト)
  - ・(Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産)
  - Plug and Play Japan アクセラレートプログラム、FLAP社会人起業家アクセラレートプログラム、Startup GRIND、学生起業家コンテスト
  - ・( GUILD道玄坂 ) 渋谷ハチ公前ピッチイベント、アクセラレートプログラム「Thinka」
  - ・( Shibuya Open Innovation Lab ( SOIL ) ) 日経StartupX、日経イノベーションミートアップ、Sprout TORYUMON
  - ・( SHIBUYA QWS ) 未来からのクエスト、スタートアップ推進議連、HACHIKO PITCH、scrum ventures Tackle! 、第8回 MONET Meet、QWSアカデミア ( 東大 )、JAPAN STARTUP SELECTION the 6th Edition、QWSステージ
- ほか多数開催

### 【日本橋エリア】

- ・年間130件超 ( Clipニホンバシ )、累計約2,000名の参加者
- ・ライフサイエンス関連イベント開催件数443回/年 ( 日本橋ライフサイエンスハブなど )

ほか多数開催

### 【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・TOKYO STARTUP GATEWAY決勝大会 (2015) (丸ビルホール)
- ・APT Women キックオフイベント (国際フォーラム)
- ・グローバルベンチャー創出プラットフォーム (X - HUB TOKYO) (2017) (丸ビルホール)
- ・Keidanren Innovation Crossing (経団連会館ほか)
- ・FIN/SUM (丸ビル他)
- ・『Founders Night Marunouchi』隔週開催 (東京21Cクラブ)
- ・『丸の内フロンティア定例会』四半期1回 (東京21Cクラブ)
- ・スタートアップインターン採用支援イベントの開催 (グローバルビジネスハブ東京)
- ・創業フォーラム、創業塾、創業ゼミナールの開催 (東商)

ほか多数開催

### 【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- ・フォーラム施設では、J-Start UPやシェアリングエコノミーなどイノベーション関連イベントを年間250件以上開催
  - ・アジア最大級のビジネスマッチングイベント「Innovation Leaders Summit」の開催 (虎ノ門ヒルズ)
  - ・Venture Café Tokyo 2018年3月より毎週開催。延べ2万人超 (平均250人超) が参加
  - ・地域のメンバーと連携し、新しい取組の発表やナレッジの共有などを目的に、HIPカンファレンスなど定期的なイベント開催を予定 (森ビル)
- ほか多数開催



## ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成の進め方(1/2)

- u 新型コロナウイルス感染症との長い戦いを見据え、感染症防止と経済活動の両立、社会構造の変革などの取組を通じて「新しい日常」が定着する社会構築が必要
- u 東京におけるイノベーション・エコシステムの促進とともに、スタートアップの活力を最大限に活かした「新しい日常」の定着に資する多様な取組に繋げるため、東京コンソーシアム内に、新たに「ポストコロナWG」を設置（1）
- u また、拠点形成計画のうち、東京ならではの「知の集積」を活かすため、大学を中心としたエコシステム拠点強化WGを先行して設置。医療・ヘルスケア分野をはじめとする大学発のイノベーションを促進し、ポストコロナの社会に貢献する取組を推進（2）

### （1）ポストコロナWG

【構成メンバー】希望する会員

【目的】

新型コロナウイルス感染症との長い戦いを見据え、ポストコロナの社会に向け、イノベーションを実装し、地域に還元する活動を推進するとともに、デジタルトランスフォーメーションの加速化など社会構造の変革等の取組を通じ、「新しい日常」が定着する社会の構築に向けた新たな展開を図る。

【会員からの主なアジェンダ案】

- ・ スタートアップの先端技術を活用したデジタルトランスフォーメーションの加速化
- ・ エコシステム促進とスタートアップの力で「新しい日常」の定着に繋げる取組を創出するための意見集約
- ・ 会員メンバーの活動状況の共有、連携

【進め方】 ~6月上旬 : WG設置、活動方針策定 6月中旬以降~ : 順次活動開始  
・ 「ポストコロナを見据えた先端技術活用に関するP T」等を順次立ち上げ  
ロボット活用をテーマにしたP T等

## ウィズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成の進め方（2/2）

### （2）大学を中心としたエコシステム拠点強化WG

#### 【構成メンバー】

会員大学（慶應義塾大学、順天堂大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京都立産業技術大学院大学、東京都立大学、東京大学、東京理科大学、早稲田大学）

#### 【目的】

東京コンソーシアム圏内における、ディープテックなどに関する知の集積のさらなる活用に向け、大学間の連携を強化し、大学の拠点性の強化を図る。

#### 【会員からの主なアジェンダ案】

- ・規制緩和（特区など）やインフラ整備（5Gなど）に関する情報共有
- ・国や都などで行う支援制度の紹介
- ・大企業やスタートアップ（国内外）の動向の共有
- ・ネットワーク強化やDXなどに向けた知見の共有
- ・その他、知見の共有と関係者間のネットワーク強化

#### 【進め方】

～6月上旬 : WG設置

6月中旬以降 : 大学等別にサブプロジェクト（PT）を設置し、順次具体的な議論を開始。  
（WG全体としての議論は、拠点都市選定、コロナ関連の状況等を見ながら適宜開始）